

2023年度

第41回 インテリアコーディネーター資格試験

二次試験（プレゼンテーション・論文試験）問題用紙

試験日：2023年12月3日

試験時間：12：30～15：30（180分）

（試験上の注意）

1. 受験票は、受験番号記載面を外にして三つ折りにし、受験番号記載面を上にして机上（原則として通路側）に置いてください。
2. 試験開始前に問題用紙（1部）、解答用紙（1枚）があることを確かめてください。試験開始直後に下書き用紙（課題Ⅰ用、課題Ⅰ・Ⅱ用計2枚）があることを確かめてください。不足があれば速やかに手をあげて監督者に申し出てください。
3. 問題用紙は試験開始の合図があるまで開かないでください。
4. 解答用紙の所定欄に、二次受験番号と氏名を必ず記入してください。
※解答用紙提出前に、受験番号と氏名を記入したかご確認ください。
5. 試験中使用できるものは、直定規（30cm以内）、三角スケール、三角定規、勾配定規、コンパス、ヘキサスケール（直定規と三角スケールの機能のみを持つもの）、型板（テンプレート）の円定規だけのもの（なお、一部に角度表示のあるものでも可）、字消し板、製図用ブラシ、色鉛筆（18色以内。色の選択は自由。軸（木や紙）に芯を通したものに限る。）、ミニ鉛筆削りおよび筆記用具（鉛筆・シャープペンシル、消しゴム）です。
6. 上記5. に掲げるもの以外（例えば電卓、万年筆、ボールペン、砂消しゴム、電動字消器、円定規以外の型板（テンプレート）など）の使用を禁止します。
7. 試験問題の内容に関する質問については、誤植の確認以外は一切お答え致しません。乱丁落丁があれば、手をあげて監督者に申し出てください。
8. 試験開始から120分以内および試験終了5分前以降は退出を禁止します。退出可能時間内に退出される方は手をあげて合図をし、解答用紙を監督者に手渡しして、静かに退出してください。なお、試験開始時刻を繰り下げて実施する場合、120分以降も退出を禁止する場合があります。
9. 問題用紙および下書き用紙はお持ち帰りください。
10. この試験問題を販売すること、または、無断転載および複製複製（コピー）することを禁じます。

公益社団法人 インテリア産業協会

解答にあたって

課題Ⅰプレゼンテーションおよび課題Ⅱ論文の各設問の解答にあたっては、未記入の解答欄が生じないように、時間配分に注意すること。

[課題Ⅰ プレゼンテーション]

[ホームシアターを楽しむ夫婦のためのインテリアコーディネート]

集合住宅に住む予定の30代後半の夫婦から、図-1に示すL・DKと寝室のインテリアコーディネートを依頼された。2人の趣味は映画や音楽鑑賞で、家でもプロジェクターやステレオを置いてホームシアターを楽しみ、週末は親族や友人3～4人を招いて食事をしたいとのことである。

下記の条件により、依頼主に説明するためのプレゼンテーション資料を作成しなさい。

1. 空間の条件

- 住居は、RC壁式構造4階建ての4階にある。
- 現状の平面および開口部の形式・位置・寸法は、図-1に示す通りであり、変更はしない。
- Dと寝室との間（図-1の破線部分）には、両側から使える収納間仕切り（W4500×D900×H2400）を造作する。
- 室内の床は、L・DKはコルクタイル貼り、寝室の床はオーク材無垢フローリング（ウレタンクリア塗装、幅150）の乱尺張りである。
- 内装制限は受けないものとする。

2. 依頼主の要求条件

(1) ホームシアターを兼ねたLについて

- プロジェクターの映像は、西側の壁面自体に直接投影する。（投影面の幅1500程度）
- 南側の引違い窓には、適切なウインドトリートメントを設ける。
- 機材、ゲーム機、DVD、趣味の本などを収納するオープン棚（W2100×D400×H1200）を置く。
- 小さめのサイドテーブル1台とパーソナルチェア2脚を置く。
- 数人で鑑賞する時のために、床にラグを敷きクッションを4つ置く。
- プロジェクターおよびスピーカーは、天井に設置する。

(2) Dについて

- 6人掛けの食卓（W1800×D900）と背もたれ付きの椅子6脚を置く。
- 東側の壁に観賞用のアートパネルを3枚設置し、それぞれのパネルを照らす照明器具も設置する。
- 食卓の上にペンダント型の照明器具を設置する。また、床にはフロアスタンドを置く。

(3) Kについて

- 西側の壁面には、冷蔵庫と、レンジ棚（W1200×D450）を置く。

(4) 寝室について

- シングルベッドを2台置き、それぞれにナイトテーブルを置く。
- 適切な位置に姿見を設置する。

(5) 収納間仕切りについて

- D側にはパソコンカウンター（D500程度）を設け、上部に書籍を収納するオープン棚、棚の下部にカウンターを照らす照明を組み込む。パソコンカウンターの前にパソコンチェアを2脚置く。
- 寝室側は、引出し、オープン棚（D300程度）を中央付近に配置し、その左右（袖壁がある部分）は天井面までのクロゼット（D700程度）とする。

(6) その他

- 照明器具は、上記(1)～(5)に指定した以外にも、適切な位置に照明器具を配置する。
- 観葉植物は、LとDに一鉢ずつ大きめの観葉植物を配置する。
- ウインドトリートメントは、Dの引違いテラス戸には出入りを考慮したものをつける。Kの片開きテラスドアには設置しない。寝室の引違い窓には睡眠を妨げないものをつける。

設問－1 インテリア平面図の作成（着彩は寝室および収納間仕切りのみとする）

解答欄1にインテリア平面図を作成しなさい。

- ホームシアターを兼ねたLは、ホームシアターとして5～6人で使用している状態を表現すること。
- 寝室および収納間仕切りについては、依頼主にインテリアのイメージをわかりやすく伝えるために、カラーコーディネートと素材の質感に配慮して、色鉛筆で適切に表現すること。床の目地は省略せずに、表現すること（寝室以外の床の目地は表現しなくてよい）。
- 家具類については、形状と使い方がよくわかるように表現し、名称と主要な寸法を記入すること。
- 照明器具については、ブラケットやスタンドなどは実線で、天井面のものは破線で図示すること。
- 天井付けのプロジェクターおよびスピーカーは、表示しなくてよい。
- 室名（L、D、K、寝室）を記入すること。

設問－2 収納間仕切りの正面図の作成（着彩しなくてよい）

解答欄2に寝室とDそれぞれから見た収納間仕切りの正面図を作成しなさい。

- それぞれの使い方がわかるように表現すること。
- 主要な寸法と仕上げ材を記入すること。
- 収納内部の構成要素は、破線で表現すること。
- パソコンチェアは、表現しなくてよい。

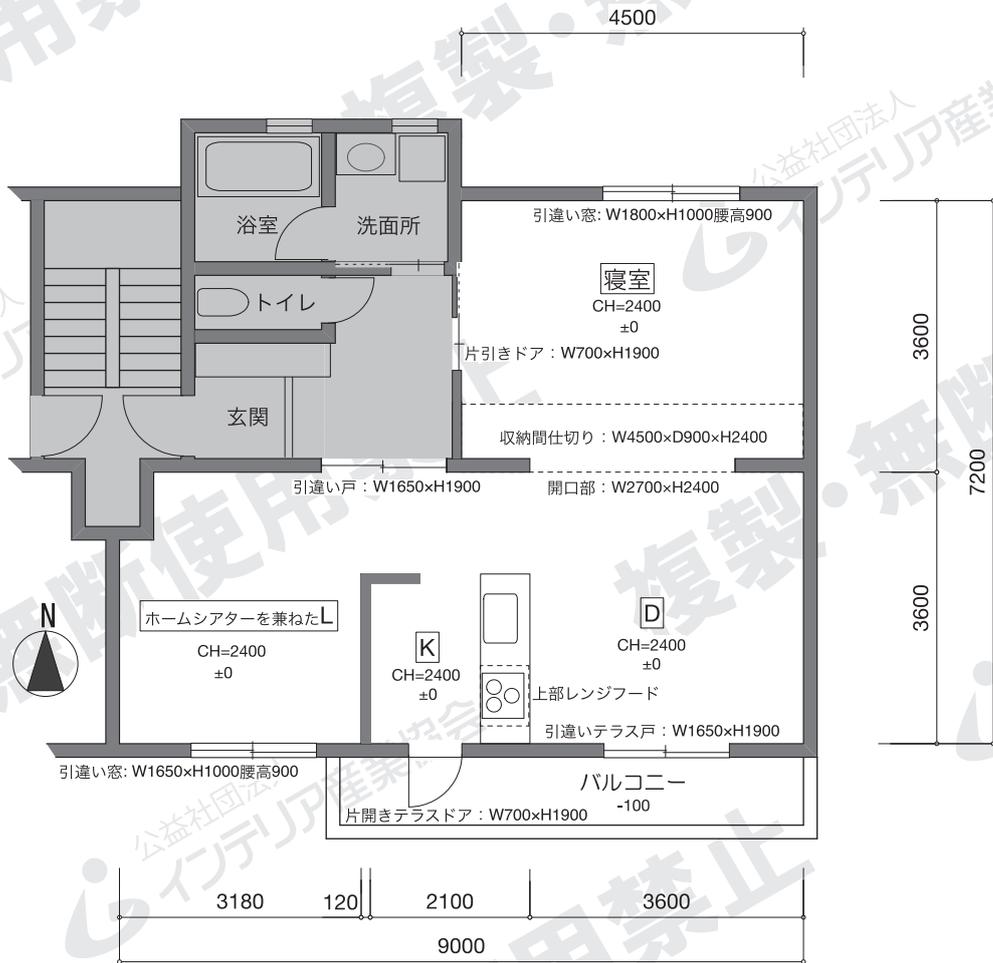


図-1 現況平面図 (S=1:100)

・網掛け部分 ■ は計画対象外

[課題Ⅱ 論文]

設問 置き家具の地震対策について

住まいにおける置き家具の地震対策について、以下の2つの観点から、それぞれ段落に分け解答欄3に550~600文字で記述しなさい。

なお、記述にあたっては、課題Ⅰとの関連性は考慮しなくてよい。

1. 転倒の防止対策
2. 横滑りの防止対策